

### 成人女性鼠径部（鼠径管／大腿管）嚢胞性病変に対する当院の治療成績に関する研究のお願い

当科では以下の臨床研究を行っております。

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）に基づき、患者さんから同意を頂くことにかえて情報を公開することにより実施しております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら下記の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【研究課題名】

成人女性鼠径部（鼠径管／大腿管）嚢胞性病変に対する治療成績の検討

#### 【研究の意義・目的】

成人女性鼠径部の嚢胞性病変（液体がたまった袋状の病変）の多くは、鼠径部ヘルニアと診断され成人鼠径部ヘルニアに準じた手術治療が行われております。しかし、我々はこれまでこれらの嚢胞性病変に、明らかな鼠径部ヘルニアを認めておらず、多くに子宮内膜症を伴っておりました。そのため、当科では成人女性鼠径部嚢胞性病変に対しての手術治療は、鼠径部ヘルニアに対して通常行われるメッシュを使用した手術は行わず、嚢胞性病変を破らずきれいに取り除き、取り除いた部分は患者さん自身の組織を用いて糸と針で縫い合わせて補強する手術を行ってきました（子宮内膜症の合併を十分考えて）。また、どのような患者さんに子宮内膜症を伴っているかを診断するために、症状の状況を詳しく聞くこと（問診）や、CTやMRI等の画像で詳しく調べてきました。本研究の目的は、当科で成人女性の鼠径管部の嚢胞性病変に対して手術を施行した患者さんを集積し、成人女性鼠径部（鼠径管／大腿管）嚢胞性病変に対する治療戦略（有効な診断方法の確立や安全かつ有効な手術方法行う）を明らかにすることです。

#### 【研究の方法】

2015年5月から2026年12月までに当科において成人女性で鼠径部（鼠径管／大腿管）の嚢胞性病変に対して手術を施行した患者さんが対象になります。

#### 【研究期間】

倫理審査委員会承認後から2027年11月末まで

#### 【個人情報の取り扱い】

### 資料 3

本研究は、あなたのカルテや病院記録（画像検査報告書や病理検査報告書）などの診療録を利用する観察研究ですが、プライバシーの保護には十分配慮致します。この研究を通じて得られたあなたに関する記録は、研究事務局に集められて保管されますが、あなたのお名前はわからないようになっていますし、研究の管理者以外の目にふれることはありません。この臨床研究の結果は雑誌や学会で報告しますが、その時もあなたのお名前や個人を特定できる情報は使用しません。

#### 【研究への参加を希望されない場合】

今回の研究へ参加を希望されない患者さんは、下記の研究責任者までご連絡ください。患者さんに関するすべての医療情報の登録の中止と削除を速やかに行います。

#### 【この研究の倫理審査について】

この研究は、本学の医学部倫理委員会によって、研究計画の妥当性が評価されており、患者さんの権利が守られていることや、医学の発展に役立つ情報が得られることなどが検討され、実施が認められています。

#### 【質問してください】

この臨床研究についてわからないことや心配に思うことがあればいつでも遠慮なく担当医師にお尋ねください。

#### 【本研究に関する問い合わせ先】

杏林大学医学部付属病院 消化器・一般外科

研究責任者

竹内弘久

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel : 0422-47-5511 (内線 7721)

E-mail: takeuchih@ks.kyorin-u.ac.jp

---

-----以上